ジュニア ミュージアム

「命というものは大切」

皆野小5年
山中 煌琳（きらり） さん

わたしは、4才ぐらいの時、おなかの病気で、二か月ぐらい入院して手じゅつをしたことがあり、とても悲しい思いをしたけいけんを今でもおぼえています。

その日、病院に行った時、病気だとわかり、おなかい外にも手にほうたいをまかれたり、注しゃをうたれたりしました。

そして、手じゅつの日。わたしは、

「どきどきするな。大丈夫かな。」

と泣きそうに思いました。

そして、手じゅつがおわって目をさました時、

「よかった。」

と思いました。そして家族も「よかった」と思っていたそうです。そしてお母さんが、

「もう少しでお家にもどれるからね。」

と言ってくれました。でも、楽しみにしていたお祭りの花火はお母さんといっしょにまどからみるしかなかったからとっても悲しくなりました。そして一週間ぐらいして、家族が来てくれました。お母さんが、

「ぬりえと、色えんぴつ持ってきたよ。」

と、買って持ってきてくれました。そして家族は夜までいてくれました。

「じゃあ、またあした、来るね。」

といい帰ってしまい、わたしは思いました。

「いつほいく園の先生に会えるのかな。」

「いつお家にもどれるのかな。」

とずっと思っていました。

そしてわたしは、病院からはなれ、お家にもどることができ、ぶじにほ育園にもいけるようになり、

「このことは手じゅつしてくれた先生のおかげだな。」

と思い命というものはとても大切なんだ、ということがあらためてわかりました。これからもけんこうで生きてられるようにしたいです。

㊥ 命の大切さについて、改めて気付いた時の経験を、上手に文にすることができましたね。これからもその気持ちを大切にしていってください。

街角

小六 大塚 美鈴

㊥ 字の中心を意識して、バランスよく、丁寧に書くことができましたね。

皆野小6年
大塚 美鈴（みすず） さん

国神小3年
持田 晃成（こうせい） さん

小三 持田晃成 日

㊥ 「折れ」の筆づかいに気を付けて、ていねいに書けました。

「友達」

皆野中1年 豊田紗里奈（さりな） さん

（本人のコメント）
友達の明るい笑顔で優しさを表現しました。また背景には、友達の強さを表現しました。

「なかよしざりがにきょうだい」

三沢小2年
長島 千晏（ちあ） さん

㊥ えのぐやクレヨンでていねいにぬれましたね。

今月の題字

皆野中2年
黒澤 宣稀（のぶき） さん

児童の見守り放送

国神小4年
櫻井 香花（きょうか） さん